

令和元年度 第2回吉川区地域協議会次第

日時：令和元年5月18日（土）午後1時00分
場所：吉川コミュニティプラザ 大会議室

1 開 会

2 会長あいさつ

3 報告事項

(1) 会長報告

(2) 委員報告

(3) 事務局報告

4 協議事項

(1) 地域活動支援事業提案団体によるプレゼンテーションについて

(2) その他

5 総合事務所からの諸連絡について

6 そ の 他

7 閉 会



令和元年5月7日

上越市長 村山 秀幸 様

吉川区地域協議会
会長 片桐 雄二

吉川区における地域防災の在り方について

上越市地域自治区の設置に関する条例第7条第1項に基づき、「地域消防団への支援活動及び今後について」を自主的に審議した結果、下記のとおり提出します。

記

日頃より地域防災につきましましては、多大なるご配慮を賜り、厚く感謝御礼を申し上げます。

現在、上越市に於かれましましては、消防団の適正配置、再編成に関しまして鋭意協議検討を進められている事と存じます。当吉川区においても出張協議会等で地域住民の皆様方からの声を伺う中、近年特に消防団員数の減少や新入団員の加入も困難な状況となっており、人口減少、高齢化が進む中、地域の安全と安心を確保することは、地域において最優先の課題であると考えております。

当吉川区は、他区には見られない地域特有の多くの地勢的課題が存在しており、画一的な防災体制ではなく、地域特性を考慮した、地域に密着した防災体制の構築が必要であると考えております。

すでに現在、消防団独自の動勢として、消防機材の整理や出動範囲の拡大等、体制組織改編が進みつつありますが、何よりもまず、地域の環境や特性に応じた防災体制と安全環境の構築が望まれます。

林野、点在住宅、山間部等、ひとたび火災が発生すれば水源水利までの距離等から複数台の中継ポンプが必要であり、機材削減は適切な消火活動が遅れ安全を脅かすことにも繋がりがかねません。

また、自然災害や人員捜索等では、多くの協力体制が必要であり、消防団だけでは対応困難な事態、状況も想定されます。

消防団の適正配置、再編成に際しては、消防団を中核として、自主防災組織や消防団OBと共に連携し地域に密着した地域防災の体制を構築し、市民の安全・安心に最大限資するべきと考えます。

総務省でも消防団に対しては、手厚い交付金措置を行っており、また、防災無線の機能強化でもすでに緊急防災・減災事業債が盛り込まれており、国としても国民の安全・安心に対策を講じている現状であります。

つきましましては、消防団の適正配置、再編成にあたり、以下の点をご考慮頂き、地域防災にとって最善なる体制組織を、構築下さる様お願い申し上げます。

1. 地域性を考慮した適正配置と再編成

林野、山間部、住宅点在等を考慮した、機材・人員配置、活動内容の策定

2. 地域防災組織と連携した防災体制づくり

自主防災、消防団OB等と連携し地域に密着した防災活動が可能な体制づくり

3. 国からの税制措置を最大限に利用

消防団員の手当て、処遇等改善に努め、団員の確保、減少の抑制を図る

平成30年度 地域活動支援事業(吉川区)実績一覧

No	事業名	実施団体	決算額(円)	補助金額(円)	事業概要	事業評価・今後の見通し	活動の様子(写真)
1	歴史と文化のまちづくり事業	歴史と文化のまちづくり研究会	992,348	744,000	元禄9年の吉川区区内に関連する村絵図を複製、展示公開することで地域の成り立ちの歴史等に触れる機会を提供した。また、入河沢城址遊歩道の整備により、地域住民の憩いの場、運動の場づくりを行うとともに、城址において歴史講座を開催して市民や小学生に紹介した。加えて、途切れつつある地域の伝承・民話を集め、次世代に継承するため、記録集を発行した。 ①ふるさと絵図・写真展、ふるさと絵図・写真出前展 ②よみがえる元禄9年ふるさと絵図出版(150冊発行) ③入河沢城址整備/階段及び手摺2か所設置、刈払い等 ④語り継ぐ歴史シリーズ発行(16話収録、30冊発行) ⑤歴史講座/入河沢城址見学会(10月、参加者55名)、吉川小学校4年生歴史講座(11月、参加者30名)	○絵図の出版は、元禄9年(1696年)の村絵図が多く残っていたことに驚く声があった。 ○絵図展はスペースが狭く、(全体の)半分しか展示できなかった。 ○語り継ぐ歴史シリーズは、区内全域の伝承・民話で発行予定だったが伝承されておらず、東田中地域に伝わるもので編集した。 ○歴史講座は謙信公ゆかりの地リレー講演会現地説明会の会場に採用されたほか、小学生の総合	
2	尾神岳サマーフェスティバル実施事業	吉川観光協会	1,127,225	873,000	「サマーフェスティバル」を区内観光拠点の一つである尾神岳で実施し、吉川区のPRと一層の誘客を図るとともに、若者に人気の「ラフベリー」のコンサートを中心にイベントを開催し、若者にスカイスポーツに関心を持ってもらうためのきっかけづくりとした。 ○実施日:8月11日(土) ○実施内容:ラフベリーコンサート、地元団体の演芸披露、売店等 ○参加者:約180人	○初めて、尾神岳で野外コンサートを実施することができた。 ○メインの「ラフベリーコンサート」は盛り上がり、来場者、関係者とも楽しめた。特に区内外から若者層が集まったことは印象的だった。 ○会場上空にパラグライダーが飛ぶなど、吉川区におけるスカイスポーツのPRに貢献できた。 ○これからも吉川区の観光振興に貢献できるようなイベントを実施できれば望ましい。	
3	吉川三大枝垂れ桜を維持管理事業	吉川三大枝垂れ桜を守る会	997,164	897,000	源地域の三大枝垂れ桜の見物客をより多くするために、稲古の枝垂れ桜を元気にするための樹木医による治療を実施するとともに、周囲の環境整備等を行った。 ①観桜会来客用案内看板設置 ※補助事業提案前に実施 ②吉川三大枝垂れ桜観桜会(4月) ※補助事業提案前に実施 ③桜シンポジウム参加(4月) ※補助事業提案前に実施 ④三大枝垂れ桜周辺の草刈り(各桜周辺で2~4回) ⑤桜プロジェクトJ活動参加(5月~11月に5回参加) ⑥樹木医による枝垂れ桜(稲古)の治療及び説明会(11月) ⑦市長とのミニ対話集会(11月)	○観桜会の期間を長くし、押し花展と同時開催したことで、多くの人が来場した。来年の来場者数に期待ができる。 ○草刈りなど保全活動を予定どおり行った。 ○枝垂れ桜の治療を予定どおり行った。 ○事業費の不足は、会員の寄付等で賄った。 ○樹木医説明会開催により、多くの人に桜の状態を知らせることができた。 ○今後は観桜会を充実して集客力を上げ、事業費不足を解消したい。 ○桜を元気にしたい。 ○桜に興味を持つ会員を増やしたい。	
4	上越文化会館と連携した文化活動と地域活性化事業(林家正蔵落語会)	夢をかなえる会	338,034	145,000	上越文化会館と連携することにより、吉川区だけではなかなか実現できないレベルの高い文化活動(林家正蔵他若手落語家による落語会)を開催することができた。 ○林家はな平、林家正蔵両名による落語会を開催 ○開催日:11月17日(土) ○会場:吉川コミュニティプラザ ○参加者:120人	○当初予定した人数が来場し、満員の会場は大きな笑い熱気に包まれた。 ○会場の雰囲気はとて良、正蔵師匠も話を追加して来場者の期待に応えてくれた。 ○後日、参加者に会う機会があったが、多くの感謝の言葉を受けた。 ○今後も補助金に頼りきることなく、自助努力や節約意識を失わずに、地域事情に合わせながら市民活動を実施する。多くの人から喜ばれ、感動や元気を届けられる活動を継続したい。	
5	スカイスポーツ振興特別事業	尾神岳スカイスポーツエリア運営委員会	751,280	630,000	パラグライダー大会のCM放送やインターネット配信等により、特に若者層へのPRに力を入れて、スカイスポーツ振興、賑わいの創出につながる取組を行った。このほか、歓迎セレモニー、実況解説等を行って大会を盛り上げ、記録映像の撮影と活用を行った。 ①JCVでのCM放送、各新聞社等へのPRの依頼 ②大会の実況解説及びネット中継、記録映像撮影等 ③これまでの映像等を活用した動画の作成と配信	○市長杯大会では、実況解説や記録映像撮影等を1日だけ行う予定だったが、2日間実施した。 ○県知事杯大会では(天候上のコンディションが合わず競技が行えなかったが)開会セレモニーに加えてアジア体育大会の日本団体監督とメダリスト7人による花角知事、村山市長とのトークショーを実施して大いに盛り上がり、PR効果も高かった。得られた効果を生かしながら、次年度から「J2大会」の誘致につなげたい。	

No	事業名	実施団体	決算額 (円)	補助金額 (円)	事業概要	事業評価・今後の見通し	活動の様子(写真)
6	長峰城址保存活用事業	越後長峰城址保存会	810,580	694,000	長峰城址本丸遺構(土塁・空堀等)の特微的な箇所(樹木伐採を行ったほか、長岡城・大胡城関係団体との交流、長峰城址見学会の実施、見学コースの整備、周辺環境美化によって魅力の向上に取り組んだ。 ①長峰城址景観整備事業/南西隅やぐら台跡の樹木伐採 ②大胡城・長岡城関係団体等との交流/長岡開府400年記念事業(5月)、前橋四公祭(10月)に参加し、長岡城、大胡城関係団体と交流を深めた。 ③長峰城見学会の開催(7月7日、参加者56人) ④安全コースづくり・魅力向上事業/城址登り口の安全ロープの更新、休憩用ベンチ2台設置、雷割草の植栽等	○長岡開府400年記念事業や前橋四公祭に参加し、関係団体等との交流が深まった。 ○事業を継続してきた成果として、長峰城の存在と活動が理解され、各所で「牧野忠成は越後長峰より長岡に移され」と正しく明記されるようになった。 ○くびき野イキイキ盛り上げ隊など団体の自主的な見学会も行われた。 ○休憩ベンチの設置、雷割草の植栽などで楽しく長峰城址を見学できるようになった。	
7	ゲートボール競技会等運営事業	吉川ゲートボール協会	687,682	209,000	ゲートボール競技会の運営及び進行の円滑化を図り、小学校のクラブ活動やビギナースクールの指導に活用する目的で、放送機器を購入した。購入した機器は、以下の事業の円滑な運営に役立てた。 ①購入後に開催するゲートボール競技会の運営及び進行 ②小学校のクラブ活動における指導(5回実施) ③ビギナースクールにおける指導(15回実施) ④高齢者同士の交流	○放送機器購入により、屋内はもちろん、屋外での大会等においても、スムーズな運営ができるようになった。 ○ゲートボール初心者や吉川小学校児童を対象とした教室も運営しやすくなり、コミュニケーションも取りやすくなった。 ○活動への参加を促し、スポーツを通じて高齢者の健康づくりに寄与することができたと思う。 ○今後もこれまで同様事業を計画し、ゲートボールを通じて、高齢者間での交流、他の世代との世代間交流を推進する。	
8	原之町町内会伝承・伝統事業継承の活動と推進(継続事業)	原之町町内会	850,672	681,000	町内で発見された乾板ガラスの写真画像をデジタル記録にすることにより、地域住民の過去の生活、文化、風景、町並みなど、区内の歴史的映像を次世代に伝承するほか、小中学校や区内のイベント等での展示を行って周知した。 ①写真用ネガガラス乾板からの画像加工 ②ガラス乾板より全紙サイズ写真作成 ③全紙サイズ写真のバックシート張り合わせ加工、その他加工 ④写真額購入 ⑤吉川中学校、吉川小学校での学習活動としての展示、区内で行われた福祉まつりや生涯学習フェスティバルでの展示等(延べ200人が見学)	○自分が住む故郷の歴史を考える機会になった。 ○関係者は写真を見て懐かしさを述べ、また見学者は、自分が住む町にこのような貴重な資料が保存されていたことに驚いていた。 ○次年度以降は町内会で、引き続き事業を継続することを検討する。	
9	川谷地区交流施設「静山荘」を移住促進拠点にリニューアルする事業	川谷もよりの将来をみんな考える会	766,659	675,000	老朽化した交流施設「静山荘」をリフォームし、川谷地域へ移住者を呼び込む拠点として活用できるよう整備した。また「川谷で暮らすこと」、「川谷で農業をすること」、「川谷で仕事をつくること」の3テーマを掲げ、地域の魅力と一緒に感じてもらう体験イベントを行った。 ①田植えと山菜とりイベント(6月2~3日、参加者4人) ②田んぼで遊ぼう(6月23日、参加者15人) ③ホテル観賞&こびり作り(7月15日、参加者7人) ④お盆を川谷で楽しもう(8月14日、参加者22人) ⑤雷掘りとそば打ち体験(2月16日、参加者10人) ⑥「静山荘」の改修/給湯器、シャワー、トイレ便座等の設置。ガスコンロ入替。脱衣所床や網戸の修繕。布団、寝袋の購入等	○イベントに想定したほど参加者がなかった。 ○周知の方法を探ったり、内容を工夫したりしながら進めた。 ○移住に結び付けるには息の長い活動の必要性を感じた。 ○地元の住民が参加者との交流の中で、地域の魅力を再確認できたのは良かった。 ○地方への移住を考えている方が参加したいと思える内容を用意しないといけない。その上でどう告知し、情報を届けるか。川谷地区ならではの内容を発掘し、今後も静山荘を移住促進拠点として活用する。	
計				5,548,000			

令和元年度 地域活動支援事業提案一覧

第2回吉川区地域協議会
令和元年5月18日
協議資料No.1

区名	事業番号	受付日	事業の名称	団体等の名称	複数に提案している場合	事業費等(単位:千円)		事業内容の概要	質問事項	質問への回答
						事業費	補助希望額			
吉川区	1	4月10日	歴史と文化のまちづくり事業	歴史と文化のまちづくり研究会	-	704	700	<p>○歴史文化展は、地域の歴史を学ぶ場や、文化の振興や交流のきっかけとなる。</p> <p>○歴史文化展は、作品の発表の場、芸術文化の推進の場、そして地域住民の文化に対する意識の涵養が期待できる。</p> <p>○歴史特別展は、地域の歴史を学び地域住民の交流が期待できる。</p> <p>○入河沢城址・天林寺城址の整備は、歴史遺産の保存活動。また、景観保全の見本となるものであり、四季の景観のすばらしさを認識できる場所となり、かつ森林浴・憩い・健康増進の場となる。</p> <p>①歴史文化展事業 ・歴史文化展:元禄9年ふるさと絵図展、写真展、絵画展 ・歴史特別展:国田八木家文書展(八木家は江戸初期の美守郷105か村2万8千石の惣肝煎役)</p> <p>②入河沢城址・天林寺城址の整備事業 ・入河沢城址:大手道の傾斜のきつい箇所に簡易手摺の設置、主郭と曲輪群等の笹・雑草の刈払い ・天林寺城址:主郭と曲輪の根株等の刈払い、雑木の伐採</p> <p>③城址説明会事業 ・入河沢城址・天林寺城址説明会(一般向け) ・入河沢城址歴史学習(小学校4年生)</p> <p>④堀家文書解説事業</p>	<p>①入河沢城址・天林寺城址説明会は講師を招いて実施とのことだが、時期は10月中に2回実施する計画か。</p> <p>②入河沢城址歴史学習で吉川小学校4年生から段ボール製の鎧を着て登山とあるが、一般市民の参加も可能か。</p> <p>③どれくらいの参加者または集客数を考えているか。また、過去3年間の経緯についても同様に願いたい。</p> <p>④子ども用甲冑に関して、段ボール製の鎧を着て登山を行うとのこと、製作される甲冑がどのような物かは分からないが、小学4年生が着て登山する際の安全性は考慮しているか。段ボールを纏うことにより身体活動が阻害され、登山の妨げにならないか。</p> <p>⑤今回で3連続となるが、どのような経緯で天林寺城址の整備が加わったのか。また、天林寺城を語る資料等はあるのか。</p> <p>⑥歴史文化の継承事業として素晴らしい活動であるが、今年で3年目となり、この先(来年度以降)の将来像等について、可能な限りで構わないので聞きたい。</p>	<p>①入河沢城址と天林寺城址は尾根伝いに隣接しているため、1回の説明会で両方を見ていただく。遺構の状態は、入河沢城址と天林寺城址とは普請の年代が違うように思われるが、一つの山城として利用されていた時代もあったのかもしれない。</p> <p>②吉川小学校4年生の城址登山は天候の状況を確認しながら決めている。そのため登山日は2~3日前の決定になる。一般の方も参加は可能で、お問合せいただければ日にちをお知らせする。</p> <p>③令和元年歴史文化展は66日間開館予定 チラシ配布を3回に増やすこととマスコミに情報提供を行う予定。600人以上の見学者を見込んでいる。 H30.9.8~12.24歴史文化展36日 芳名帳には75名記載 H29.11.18入河沢城址説明会 一般参加者14名 H30.10.5上杉謙信公ゆかりの地リレー講演会・入河沢城説明会55名 H30.11.5吉川小学校4年生入河沢城歴史学習30名</p> <p>④市販の無地のダンボール甲冑に着色したものを着てもらう予定。動きに大きな制約を受けることはないと考えている。また登山日には、引率教師2名と当会会員2名以上配置し安全確保したい。</p> <p>⑤平成29年度の入河沢城址整備の最中、地元会員から東曲輪群の尾根伝いに掘切遺構があるとの情報があった。花ヶ前盛明氏調査作成縄張りにも記載がなく半信半疑だったが、後日一会員が尾根伝いを踏査したところ遺構を発見。平成30年3月に山城研究家から調査してもらったところ中世山城遺構であることを確認された。遺構は、天林寺地籍になり、平成30年度に地元地権者の同意を受け、支援事業とは別に縄張り作成のために整備を行った。天林寺城は、地元も地権者(天林寺・土尻)も全く存在を知らない山城であった。もちろん、文献には登場しない山城である。南北朝時代の山城は遺構を築かずに利用していたと言われている。戦国期になり、堀切や切岸等を築いたようだ。南北朝期には入河沢、天林寺、河沢の山全体を一つの山城として利用していたことも否定はできない。河沢の俗地名鍛冶山に確証はないが、岩跡と思われる遺構も見つかった。一つの山城であったかどうかは、山城研究家の見解は、南北朝時代の山城文献にない限り全く不明であるとのことだ。周囲には、カンゴウ寺(入河沢・天林寺)、忠善寺(東田中・河沢)、レイセン寺(河沢)、仲傳寺(天林寺)の小字名や俗地名が残っており、また天林寺城址のそばと河沢の俗地名鍛冶山に塚(2か所づつ)と思われる遺構が見つかり山全体が謎に包まれている。</p> <p>⑥歴史文化展を中心に事業を展開していきたい。特に改易された福嶋藩堀家文書に期待している。令和2年度には是非公開できればと思っている。入河沢城址・天林寺城址は専門家の意見も聞く必要があると思う。文献の発見は望み薄だ。地域の民話も非常に気にかかると、堀家文書解説や城址整備が終わる2~3年後にどうするか見極めたい。</p>
	2	4月16日	吉川三大枝垂れ桜を維持管理事業	吉川三大枝垂れ桜を守る会	-	757	700	<p>報恩寺の枝垂れ桜において、根に負担をかけている門から本堂に敷いてある敷石を移動し、根に活力を与えて木を元気にする土壌改良を行う。この治療により花数が増えれば、花見客に感動を与えられる。今年も県内外から多くの方が訪れ、吉川区在住でも初めて源地域に来たという人もある。今後も故郷の良さをどんどんアピールしていきたい。吉川三大枝垂れ桜は長寿命な品種なので、治療することにより何百年と生き続け、風格が増すとされる。美しいものを愛する夢を未来に繋げていくことができる。</p> <p>1.樹木医による治療(吉川三大枝垂れ桜報恩寺分) ・治療は専門性が高いため樹木医に依頼。会では、日常的な保全活動を行う。</p> <p>2.樹木医による治療報告(会員、希望者) ・桜の知識を身につけ、保全活動に役立てる。</p> <p>3.三大枝垂れ桜の周囲の環境整備(会員、希望者) ・草刈り、肥料やり、ひこばえの削除、胴吹き芽の削除</p> <p>4.他の団体(桜プロジェクトJ)の講習会(全7回)に参加して桜の知識を身につける。</p>	<p>①事業の実施時期で、平成31年9月1日~12月中旬に樹木医による治療及び治療報告会があるが、希望者に何かの方法で声掛けをしてほしい。</p> <p>②報恩寺の枝垂れ桜は、回復の見込みがあるのか。</p>	<p>①・報道等を通じ吉川区内外に情報を発信する。・私のブログにも掲載する。</p> <p>②回復の見込みはある。土壌改良と根に負担をかけている石積みを除去してやることにより木に活力を与え回復させることができるものと思う。村屋の桜は治療する前と比べると花付きも良くなり、枝ぶりも良くなっている。</p>
	3	4月17日	長峰城址の保存・活用事業	越後長峰城址保存会	-	723	700	<p>○長峰城址本丸遺構の景観整備箇所を維持保全するとともに、下草等の刈払いにより、城の成り立ちが理解できるようにする。</p> <p>○講話会や見学会、遺構説明板設置等を通じて長峰城の歴史や役割、城づくりの特徴について理解を深めることができるようにする。</p> <p>○柏友会招魂社祭や、牧野氏まつり、前橋四公祭に参加し、大胡城や長岡城関係団体との交流促進を図る。</p> <p>○安全に見学できるコースづくりを行うほか、季節に応じた景観を楽しむよう、植栽を継続して魅力を増す。長峰の魅力のひとつでもある子ども守り地蔵も見学コースに取り込み、来訪者層の拡大などに繋げる。</p> <p>1 講話会・見学会 長峰城講話会=講師:牧野忠昌氏 期日:6月23日(日) 会場:長峰公民館 長峰城見学会=講師:佐藤春雄氏、金井薫氏 期日:8月18日(日) 会場:長峰城現地</p>	<p>①事業内容及び実施方法の中に、柏友会招魂社祭(5月19日)、牧野氏まつり(7月27日)前橋四公祭(10月5日)への参加とあるが、保存会会員のみの参加で、一般市民の参加募集の計画は不可能か。</p> <p>②遺構説明板の設置(9台)とあるが、城跡の景観を損なうことはないか。</p>	<p>①いずれも乗用車1台での出席を考えている。希望があれば1名ほどの参加は可能だ。募集方法等を今後は検討したい。なお、柏友会招魂社祭はすでに申込書を送ったので、今年は保存会会員のみの参加とする。また、牧野氏まつりは昨年度から隔年開催となった。</p> <p>②遺構説明板設置の目的は、パンフレット等を持たない来訪者等でも長峰城の遺構や周辺の土地の改変についての理解を深めていただくためのもの。設置場所や説明板内容例は別紙のとおり。今回の説明板設置により不要になる古い立札類は撤去する予定なので、景観を損なうことはないと考えている。説明板の大きさはヨコ90cm×タテ60cm、左に説明文、右に写真・図等(カラー)を入れる予定。</p>

区名	事業番号	受付日	事業の名称	団体等の名称	複数に提案している場合	事業費等(単位:千円) 事業費 補助希望額	事業内容の概要	質問事項	質問への回答
							2 大胡城・長岡城関係団体との交流事業 柏友会招魂社祭(5月19日)への参加 牧野氏まつり(7月27日)、前橋四公祭(10月5日)への参加 牧野家奉賛会(豊川市)、大胡歴史研究会(前橋市)、旧長岡藩士族会「柏友会」、牧野公奉賛会(以上、長岡市)、前橋市、長岡市 3 遺構説明板の設置 設置場所:長峰城の見どころ9か所(西土壘前、南西やぐら台上、北西やぐら台上、北虎口、東土壘上、北東平坦地、南東やぐら台上、南土壘断面前、南土壘) 仕様:板面90cm×60cm カラー写真・文字入れ 支柱2本 4 安全コースづくり・魅力向上事業 安全・分かりやすい見学コースづくり 下草刈払い 長いすの設置 安全ロープ張り 三面案内看板設置(駐車場脇) 魅力向上事業 雪割草の植栽 子ども守り地蔵説明板設置		
4		4月18日	次世代を励ます婚活支援事業	次世代を励ます会	-	365 250	○少子高齢化で次世代の人口流出が進む中、次世代定住と活力ある地域づくりのため、若者交流の場や婚姻の推進を目指す。 ○次世代定住に向けた市民の意識向上を図るとともに、その実現に向け、必要な施策を実践する。 (1)事業の対象者:吉川区の住民 (2)事業の実施時期:平成31年9月(予定) (3)事業の実施方法: ①「次世代交流活動支援講演」 次世代を励ます会が主体となって、地域住民を対象とした講演会を実施。 仮称「おもしろ話し聞き行かんかね！」 講師を招き、婚活に対する次世代と周囲の意識改善と向上についての講演会を開催。 ②「次世代定住に向けた交流支援活動」 次世代を励ます会が主体となって、地区住民の交流会を開催。 仮称「たまには皆でうめもん食べいって笑ってよさあー」	①今後の活動について教えてほしい。 ②講演される方はどのような方(専門、経験、実績、他)を予定しているのか。 ③講演料150,000円の内訳を教えてください。 ④講演料が高いと感じる。講演者のプロフィール、選定理由を示してほしい。	①予定の講演会まではもとよりその後も会議の場をもち、どんな事が次世代を励ますものになるか、イベント等の開催も検討していく。 ②参考資料参照。 ③講師は新潟市の方を予定している。新潟柿崎間交通費(JR特急往復)と50枚程度の講演会チラシを含むもの。 ④講演料が高いと感じるかもしれない。実績も経験も多い方なので、プロフィールをご覧ください。ご理解いただきたい。選定理由は、結婚を考える当人ではなく「親御様対象」という所で考えた。
5		4月19日	吉川区よさこいを通じての地域活性及び青少年の健全育成支援事業	百華踊乱よしかわ	-	542 541	○よさこいの演奏に必要な衣装と扇子、鳴子を会所有とすることで、成長に伴い身体に合った衣装を着用することができるほか、扇子や鳴子を同じデザインに統一することでチーム内での連帯感が生まれる。 ○上記により新入会員の初期費用も僅かです済むため、会員の勧誘に有利となり、今後も活動を続けるうえで必要となる会員の増加を図るために有効な手段となる。 ○また、新曲の振り落とし(指導)を外部に依頼することで踊りのレベルが上がり、イベント等で踊る際により一層観客の皆様楽しんでいただくことができる。 ○新しい衣装と演奏曲は会員の子どもの活動の励みとなり、益々イベント等を盛り上げることができる。 ○衣装の製作及び扇子、鳴子の購入 ○新曲の振り落とし指導 ○区内及び近隣地域のイベント等への出演(5月頃～11月頃。6月以降は新衣装で出演開始。越後よしかわ酒まつりにも出演予定。) ○地域のイベントでよさこいを踊ることにより、賑やかな曲と艶やかな衣装、鳴子、扇子による相乗効果でより一層華やかなものとして盛り上げる。 ○よさこいの演奏を目的とした集客にも繋がるよう、地域の活性化に貢献したい。 ○何よりも、この地域で育った子どもたちがよさこいの活動を通して、世代を超えた交流の中で楽しく過ごすことで、地域を好きになってもらい、共に活動した時間を良い思い出として心に残るよう支援する。	①百華踊乱よしかわに参加する子どもたちの現在の状況、例えば小学生、中学生、高校生等の別や、参加する人数の増加、存続するための方法を聞かせてほしい。 ②直近の収支が約45万円あるのに、なぜ今回、提案したのか。自主財源で2、3年の計画でできないのか。 ③現構成員15名、製作衣装:18着、扇子:20本、鳴子:20セットの数の違いを教えてください。 ④製作衣装のサイズは、何種類くらいあるのか。 ⑤平成31年度地域活動支援事業 吉川区の採択方針を理解されていることと思うが、1-(4)に定める事項について、考え・認識を聞きたい。	①現在の会員は、小学生10人、中学生1人、高校生1人の12人。昨年1人新入会し、1人再入会している。しかし4月に高校生となった子ども2人が退会している。退会しても都合が合えばイベントの参加は可能だ。習い事の始まる前の保育園児に入学してもらおうべく「よっちょれ」のよさこい指導に一昨年2回行った。運動会で大きな声で楽しく踊ってくれる姿を見て嬉しかった。しかし、練習の見学には来てもらえるが入会には至らず残念だった。諦めず、今後も勧誘に努める。また、上越市の生涯学習関係団体サークルに登録し広く会員募集を呼びかける予定。近年では、会を存続するための手段として、保護者の方たちとの連携を強くし、会の運営とイベントの出店等を完全に任せられている。その効果もあり親同志の結びつきも強く、やっつけまつりでの子どもみこし、酒まつりでのカレーや子どもたちに楽しんでもらう企画の出店に積極的に取り組んで頂き、その効果が出ているものと思う。 ②収入の殆どは遠征イベントに参加するための参加者からの徴収金額や会員の会費である。会計を通すお金を全て収入にあげているため多くみえる。しかし、毎年遠征に向けたバス代を捻出すべく残高を残すようにしている。会員の備品消耗品の会費負担、特定のイベント参加の子どもの送迎に対する車賃借料、スポーツ安全保険料も会費から支払われている。また、1年間の活動の締めとして、「お楽しみ会」と称し、子どもたちや保護者と共に過ごす時間を設けている。全員でゲームをしたりご飯を食べたりと楽しい時間である。子どもたちはとても楽しみにしている。そのお金は全て会の収入のなかから出されている。 ③衣装は、これからの新入会員を見込んでの数量である。扇子、鳴子は消耗品のため、破損や紛失も見込まれるので、2本(セット)予備として購入計上した。 ④SS、S、M、L、LLサイズの5種類。多種類とし、子どもの体型に合わせて着まわせる。 ⑤衣装や扇子、鳴子はよさこいを踊るうえで絶対に必要なものだ。 皆が同じ衣装で踊るパフォーマンスは華やかで踊りにも勢いがあるのでイベントをより一層盛り上げてくれる。しかし、衣装は成長期である小学生、中学生は成長を見越して大きめに作っても何年か後には必ず小さくなり、作り替えを必要とする。会で所有することにより着まわすことが出来、その時々合った衣装を着ることが出来るので個人負担が軽減されるため、会員の減少を防ぐことが出来るものと思われる。実際、過去には衣装の作り替えの時期に退会された方もおられた。また、会で所有することにより新入会員の勧誘をしやすくする。以上の理由により、1-(4)に定める事項については充分理解した上で申請した。
6		4月19日	尾神岳を楽しむ集い	吉川観光協会	-	726 700	○吉川区唯一の山岳観光地において観光資源に広く親しみ、楽しみ、新しい発見の機会を提供して山岳観光の発展を図る。 ○各種イベントや観察を通して、吉川区内外はもとより地域外に広く自然の恵みを発信することで、山間地の賑わいを醸成して地区の活力向上を図る。 ○上記の目的に資するため、イベントを実施する。 ○イベントの実施日時/8月11日(山の日)午後1時30分～午後8時頃(天候等により変更あり) ○会場/尾神岳パラグライダー練習場及びテイクオフ、パノラマハウス ①パラグライダーのお試し体験(インストラクターつき) ②吉川区内外で活躍する団体による演舞等披露(3団体予定) ③音楽ライブ(ひなた) ④夕日の堪能と食事会(日本海に映える夕日)※飲食にかかる費用は提案対象外 ⑤星空観察(星座説明会、星空観察会) ○平成31年5月から打合せを開始し、イベント実施後の9月までに精算を行う。	①実施に当たっては、早くからチラシや新聞等に情報を掲載し、参加者の増加を図ることを望む。 ②No.6とNo.7の事業提案について、ともに吉川地域の活性化、発展のために良い提案だと思っており、双方で協議をして、より効果が出るような方法を考えてほしい。	①事業の決定をみてから早急に取り組み成果を上げるように努めます。 ②事業を取り組む母体(提案者)は違いますが、開催する場所が同じため相乗効果が出るように双方で協議しながら進めたいと思います。

区名	事業番号	受付日	事業の名称	団体等の名称	複数に提案している場合	事業費等(単位:千円)		事業内容の概要	質問事項	質問への回答
						事業費	補助希望額			
	7	4月19日	尾神観光資源PR特別事業	尾神岳スカイスポーツエリア運営委員会	-	677	664	<p>「尾神岳のパラグライダー」や「尾神そば」は吉川区でも知名度が高く、これらを観光資源と捉え、地域経済の発展や地域の活性化に結び付けるために効果的な利活用を図りながらPRに一層の工夫を加える。</p> <p>これまでも当事業の支援を受け、パラグライダー大会の賑わいづくりや大会の実況解説等を行い、多くの選手やギャラリーの皆さんに大変喜ばれ、成果を挙げてきた。本年、5回計画されているパラグライダー大会の中でも5月の上越市長杯、10月の新潟県知事杯という大きな大会に併せて尾神そばイベントを実施し、尾神観光資源の特別なPRによりそれらの更なる定着化を推進する。そして、パラグライダーや尾神そばをきっかけとして、今まで以上に多くの皆さんに尾神岳を訪れてもらい、山間地の賑わいを創出する。今後も引き続きこうした事業の開催により、地域の特産品や開発商品等(モンペ、ジャム、どら焼き等)全国的なPRに繋がる効果を期待する。</p> <p>上越市長杯と新潟県知事杯の大会でそばイベントを同時開催し、若者層へのPRにも力点を置き、先々のパラグライダー振興に繋げると共に、地域特産品等の利活用により一層の賑わいを創出する。</p> <p>①そばイベントの開催(尾神そば早食い大会)／場所:尾神岳テイクオフ広場 ・尾神そば早食い選手権(第1回)～平成31年5月25日(土)、上越市長杯パラグライダー大会時に開催 ・尾神そば早食い選手権(第2回)～平成31年10月26日(土)、新潟県知事杯パラグライダー大会時に開催 ◎PR方法/各新聞社等に依頼、チラシの掲示、折り込み配布等 ②パラグライダー大会やイベントの実況解説等の実施/場所:尾神岳テイクオフ プロ級の司会や解説者により選手の紹介やパラグライダー大会の内容、加えてそばイベントも会場実況放送し、大会とイベントを盛り上げる。 ・上越市長杯パラグライダー大会/期日:平成31年5月25日(土)、26日(日) ・新潟県知事杯パラグライダー大会/期日:平成31年10月26日(土)、27日(日) ③記録写真や動画撮影を行い、ネット動画の配信を行う。</p>	①No.6とNo.7の事業提案について、ともに吉川地域の活性化、発展のために良い提案だと思うので、双方で協議をして、より効果が出るような方法を考えてほしい。	①事業を取り組む母体(提案者)は違いますが、開催する場所が同じため相乗効果が出るように双方で協議しながら進めたいと思います。
		配分額 (単位:千円)	5,700	差引	1,445	4,494	4,255			